



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創 立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,
MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,

チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2020年 富士五湖クラブ 6月プリテン 第188号

会長	望月喜代子
副会長	後藤昭子
副会長	原 俊彦
書記	後藤明久
会計	武藤五子
会計	望月 勉
直前会長	後藤明久

国際会長 : Jennifer Jones(オーストラリア)

「Yes、we can change」

アジア太平洋会長 : 田中博之 (日本)

「アクション」

東日本区理事 : 山田敏明 (十勝)

「勇気ある改革、愛ある行動！」

あずさ部長 : 赤羽美栄子(松本)

「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために！」

富士五湖クラブ会長 : 望月喜代子

『楽しみながら一步一步』

6月第1例会

2020年6月12日(金) 20時～

まだ、ふれあいセンターが利用制限されているので望月宅で開催

6月第2例会(定期総会)

2020年6月26日(金) 20時～

ふれあいセンター

5月のデータ

会員数

11名

今月のハッピーバースデー

6月12日 小池敦子さん

今月のアニバーサリー

6月18日 原 俊彦さん&淑子さん

おめでとうございます！

1年を振り返って

17代会長 望月喜代子
年間の3分の2が終るまで、大変順調に行きました。しかし、2月頃からコロナウイルスの影響がすべての行事を直撃し、富士五湖クラブ最大イベントの、フライングディスク大会も延期となりました。残り3分の1、他クラブ、あずさ部、すべてが中止になりました。4か月間他クラブに出席しなかったのは、ワイズに入会して初めてのことでした。新年度も多大な影響を受けませんが、1日も早い収束を願い、前を見つめて歩いていきたいと思います。



2020年5月第1例会

Zoomを使ったオンライン例会

日時; 2020年5月15日(金) 午後8時から10時00分

場所; 各自自宅にてインターネット利用でのオンライン例会

参加者; 望月2、原2、後藤2、三浦、武藤+マキちゃん、茅野、小池

望月喜代子会長より、新型コロナウイルスの影響で、会場のふれあいセンターが使えないですが、皆の顔が見れる例会をしましょうと挨拶、開会した。

議事; フライングディスク大会は中止となってしまったが、かかった経費だけはあずさ部でみてくれると大和田 CS 主査より連絡があった。経費確認して、残金を返金する。

フライングディスク大会が秋にでも可能かどうか審判に確認する(三浦)

富士山例会> 山小屋がすべて休業している現状では、開催できない状況。

ロースター広告> 富士山例会、山小屋などなので外す。

あずさ部評議会> 開催せず、書面決議となった。バザー、チャリティーランも今年は出来ない。緊急事態宣言が解除となったら、納涼バーベキュー例会をしよう。

ふれあいセンターでの例会が可能か確認(望月)
5/29 例会をどうするか。

定期総会は6月第2例会に行く。

議事が終わりましたので、各自飲み物を用意して、オンライン飲み会へ移行しました。

ここからは近況報告などでワイワイガヤガヤと楽しく過ごしました。

定刻になり、2時間ほどのオンライン例会が終了、お疲れさまでした。



Zoomについては、東日本区 CS 主任の片山さんよりの案内で、ネット例会をしてみようということになり、試行錯誤しながら、繋がった、切れた、とワイワイやってみました。何事にも挑戦の富士五湖クラブらしい面白い例会となりました。片山さんに改めて感謝申し上げます。



2020年5月第2例会

日時；2020年5月29日（金）午後8時から11時00分

場所；望月会長宅にて（オンライン併用例会）

参加者；望月2、原2、後藤2、三浦、武藤+マキちゃん。オンライン；茅野、小池

喜代子会長より、新型コロナウイルスの影響で、会場のふれあいセンターが使えないですが、宜しくお願い致します、と挨拶、開会した。

今回は、茅野さん、小池さんの二人はZoomを使ったオンラインで参加となりました。途中、東京武蔵野多摩クラブの大ちゃん、板村さんも参加してくれました。今後この方式が進化していく予感がします。全国的に広がれば交流も進み、別な発展が期待できそうですね。

Zoomは簡単なので、須藤さんにオンライン参加してもらおう。

議事>ロースター原稿の初稿を確認、修正箇所を赤修正して、再度提出（acco）

6月例会>6/12（金）第1例会、6/26（金）；定期総会

フライングディスク大会の開催については、協会事務局からの返信がない。協会の定期総会などで確認していく（三浦）

富士山例会は初めて中止となる。クラブ内でできる納涼会、バーベキューなどをやる方向。

各自の近況報告を行った>茅野；県境をまたぐなど言われている。実家にも帰れず、東京の息子にも会えず、ストレスがたまる。近くを散策して、小さな発見をしている。

三浦；ドコモ光が繋がらない、送信できない、見ることはできる。設定では？

武藤；主人の収入が減ったので持続化給付金を申請する予定。ここに来るとき、河口湖のホテル街は真っ暗だった。改めてホテルに客がいなのが分かった。

マキちゃん；ディズニーランドに行けてない、外食に行けないでストレスたまってる。



原淑子；コロナ太りしてる、ジムに行けず運動不足。携帯料金見直ししたら安くなった。

原俊彦；2月3月4月5月が別荘での生活になった。生活の主体が変わった。自由に散歩したり、時間に追われないので集中力が増した。

望月喜代子会長；コロナ離婚しそうだった！（皆>えー）貯金会はできない、旦那さんは毎日いる（いつもですけど）。耐えられない状況だった！

望月勉；全員10万以外、鳴沢18歳以下3万人（ちなみに富士吉田は1万/人、山中湖3万人。忍野は5万？話だけで消えた。）ちょくちょく一人バーベキューを開催している。

Acco；貯金会は3月から休んでいる。ずっと休んでいる夫婦貯金会の主人の同級生仲間がなくなり、集まったのは通夜告別式。コロナ回避で忌中払いもできない現状は何とも…

後藤明久；2月以降の貯金会、新年宴会、春の祭りがすべて中止、延期になった。ちょっとおとした飲み会も自粛だったので調子がいまいち上がらない。ワイズ例会で再発進！

途中より、東京武蔵野多摩クラブの渡辺大輔さんを招待、さらに板村次期理事も招待して合同

例会のようで楽しかった。理事や部長の生の声を聴くには良い方法と感じました。

《山梨 YMCA だより》

〈子どもたちが帰ってきた！〉

露木総主事

久々に子どもたちの声が帰ってきました。緊急事態宣言が解除となり、学童保育と発達支援の子供たちが学校再開になったのを受けて、まだ7割ぐらいの利用ですが、戻ってきています。「すげえ」「めっちゃきれい」「エレベーターがあるよ」などとはしゃぎながら、館内をくまなく探検しています。今までいた子たちに交じって、初めて来た1年生も戸惑いながら黄色い帽子をかぶって、大き過ぎるランドセルをしょってやってきました。やはりYMCAには子どもが似合います。その声を聞くと何ともほっこりとした気分になります。今までになく一人一人がいとおしく、ありがたい存在に感じられます。

一方で1階の西側半分にあるデイサービスセンター「オリーブの木」は、オープンはしたものの、まだ利用がなく閑散としています。すでに準備万端、いつでもお風呂に入れる状態ですが、このコロナ騒ぎで、新規利用者の気配は遠のいてしまいました。理想に掲げた「お年寄りと子供が家族のように一緒にくつろぐことができるYMCA」の実現が待ち望まれます。

とっっても快適な、便利できれいになった新しいYMCAを、早くいっぱいになりたいと、はやる気持ちを抑えつつ、今私たちがやるべきことを模索する毎日が続きます。コロナウイルスはそう簡単にはなくならないでしょう。ウィズ・コロナ。いかにコロナ渦の中で生き抜くか。コロナ渦の中にいる人々を勇気づけられるか。YMCAでなければできないことがきっとあるはず。それが何なのか、まだはっきりとは見えてきませんが、まずは地域の人々とつながろうと思います。足を運び、皆様の声を聴き、こちらからできることを発信しなければなりません。YMCAの行動指針LOVE (Life support、Outreach、Volunteer、Education)の初心に立ち返って、まずはOutreach、地域に根差すところから始めます。

最後に、もう一度、募金のお願いをさせていただきます。ご他聞に漏れず、山梨YMCAもコロナの影響下による減収は避けられず、建築資金にも少なからず影響を受け、多額の借入金を起こしております。何卒、何卒、この神の家の建設に対しまして、皆様から愛のお志しをお寄せいただきますようお願い申し上げます。

つれづれ

新型コロナの影響で後半、ワイズの皆さまに会えない日々で寂しい思いでしたが、クラブメンバーでzoomを利用したオンライン例会が行えたことは大きな進歩でした。これからは遠隔地にいるメンバーや当日、会場に来れないメンバーはオンライン参加ができますne.

とはいえ、早くコロナが収束してワイズの皆さまに会いたいですね。acco